

6月に開催された(仮称)外語大記念施設用地暫定利用小委員会の概要

[整備について(区より説明)]

- ・開放型として整備します。現在工事発注中で、出来るだけ早く完成させるように調整します。
- ・散水栓・掲示板・清掃用具入れの物置には鍵を付け、鍵は区が管理します。予備の鍵については皆さんと考えたいと思います。
- ・ベンチ・街路灯などは置かない方向で考えていますが、リサイクル品があれば検討します。
- ・広報板(掲示板)の位置は現地あわせとします。
- ・西部自治会の防災倉庫を置く予定です。(敷地南側の万能塀沿いのあたり)
- ・北側の段差処理については、造成工事の期間中に皆さんに現場を見てもらい、意見を伺う機会を作りたいと思っています。

[皆さんのご意見]

- ・広報板には「北区まちづくり推進課」と「まちづくり協議会」が管理者であることを明示するといいたいです。
- ・地域の特性を考慮した日常利用のルールを決めていきましょう。また、注意書きが飽きられないように一定期間ごとに変えていってはどうでしょうか。
- ・団体利用については、公的利用に限定し区に利用申請を出す仕組みにしようか。
- ・協議会の活動を考えましょう(月1回程度、草刈り等)

⇒7月18日に再度小委員会で検討することになりました。

(仮称)外語大記念施設用地暫定整備について

(仮称)外語大記念施設用地の暫定整備を行います。整備内容は上記小委員会で検討いたしました。工事のご協力をよろしくお願いいたします。

[工事業者] 安行造園株式会社

[工事期間] 7月中旬～9月3日

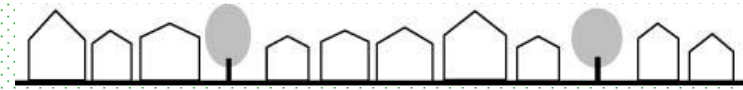
[問い合わせ] 北区まちづくり部工事課 有賀・小澤

TEL:03-3908-9238

FAX:03-3908-8336



西ヶ原まちづくり協議会ニュース



第11号 平成19年7月発行
発行：西ヶ原まちづくり協議会

第10回まちづくり協議会 開催のご案内

日付：平成19年7月27日(金曜日)

時間：午後7時00分～午後9時00分頃まで

場所：滝野川東ふれあい館 3階ABホール

[議題]

西ヶ原の防災シミュレーション
・地震がきたらどうしますか？



[報告]

(仮称) 外語大跡地公園の整備について

・7月6日の設計報告会の状況報告

(仮称) 外語大跡地公園のビオトープについて

・6月13日のビオトープ管理運営準備会の状況報告

(仮称) 外語大記念施設用地の暫定整備について

・7月18日の暫定利用小委員会の状況報告

[研究]

道路について(密集事業の道路・狭あい道路)

[その他]

事務局：北区役所まちづくり部 まちづくり推進課

TEL:03-3908-9154 FAX:03-3908-2244

e-mail:machisuishin-ka@city.kita.lg.jp

第9回まちづくり協議会の主なご意見



○（仮称）外語大記念施設用地の暫定整備について

- ・北側の高低差のある部分は、危険だと思うので、道路際ではなく、法面の手前にフェンスを設置したほうがよいのではないかと。
- ・物事がなかなか決まっていけないので、小委員会で考え方をまとめ、協議会に報告し、皆さんに承認していただくという流れにすべき。今後、新しく出来る様々な小委員会での流れも同様だと思う。
- ・小委員会では、「開放型」にすると管理が難しいという意見と、ずっと閉鎖されていたので、オープンな利用を目指したらどうかという意見があった。小委員会としては、「開放型」で整備していくということになった。皆さんのご意見を伺いたい。
- ・なるべく速やかに工事に入らないと利用できる期間が少なくなる。行政の工事発注の都合もある。「開放型で整備する」という暫定利用小委員会の決定を、皆さんにご承認いただければと思う。

⇒暫定整備は開放型で進めるということで承認されました。

○密集事業<事業の状況・新たな防火規制>について

- ・外語大の周りの道路はとて広くなったが、他の道路も拓げていくのか。西ヶ原小学校の通りは校庭を削るのか。
- ・道路が狭いと、火災の時には消防車も入ってこられないし、水も出ないという状況では何もできない。
- ・道路が拓げないと危険だという事だけでなく、きちんとした道路がないと資産価値も上がらない。その点も考えて、道路を拓げていくことを改めて考えて欲しい。
- ・建替えるときには、確実にセットバックして建てるように指導して欲しい。建替えても、門や塀がそのまま残っては何にもならない。最低でも消防車が入れるような道路を作って欲しいし、そうしないと火が出ても消火が間に合わない。
- ・協議会と地域で安全なまちを目指していきたい。

○協議会の運営・進め方について

- ・今後は、火事や地震が起こった場合に、どのように動くのかといったことをシミュレーションして、この公園をどのように活かしていくのかについて、皆さんと考えてみたい。日頃からの危機管理は非常に大切。災害のときに周辺とどのように連携していけるか、住民同士がどのように協力していけるかといったことを考えていく必要がある。

- ・この地域は古い建物が密集しているために、防災という面では立ち遅れた状況にあるという問題についても考えていくべきです。
- ・災害を身近に感じることは難しいと思うが、災害をイメージするようなことをやっていかないといけない。今後とも皆さんにはご参加頂き、西ヶ原の防災について考える機会を設けたい。
- ・協議会でいくら良い話をして地域に浸透しなくては何にもならない。自治会等を通して、地域の皆さんに情報を届けていただきたい。
- ・密集事業が終わっても協議会を続けていくためには、ソフト面についても話題にしていく必要がある。

ビオトープ管理運営準備会及び（仮称）外語大記念施設用地暫定利用小委員会が開催されています！

6月に開催されたビオトープ管理運営準備会の概要

[今後スケジュールと進め方について]

- 平成21年度までの、ビオトープ関連工事の概略スケジュールが示されました。(区より説明)さらに公園の全体工事との関係性なども含め検討していくこととしました。
- どのような状態でオープンするのかによって、それまでに行う内容は違うので検討が必要。
- 向こう1年間は現地に入れないので、自分達で勉強をしていくこととなりました。

[皆さんのご意見]

- ・どのようなタイプのビオトープにするかある程度は決まっているが、さらにコンセプトのすり合せが必要。
- ・管理についても、どれくらい手間がかかるのか判断のうえ決めなくてはならない。
- ・ここの計画と同規模のものを見学に行ってはどうか。(江東区、武蔵野市などが候補に挙げられました。)
- ・専門家の先生を招いた勉強会などができないか。
- 当日は「北区・子どもの水辺運営協議会」の方が出席され、他地区の紹介や貴重なアドバイスを頂きました。

⇒今後は部会世話係の方を中心に、協議会事務局と調整しながら進めていくこととしました。